



ちょっと遅くなりましたが
1月号です。



2年生最後の校内発表会



口頭発表

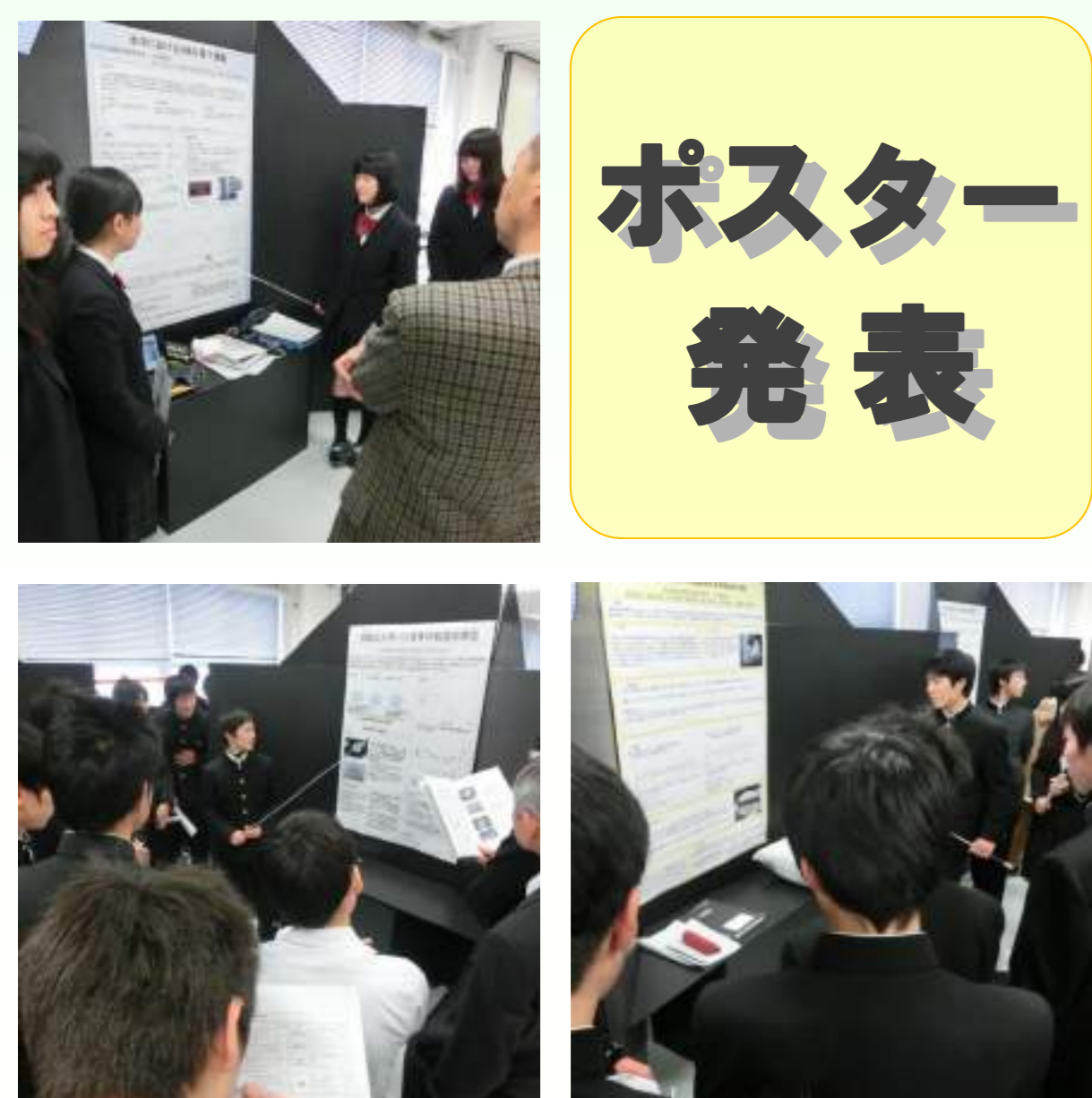
4分野から各1グループの口頭発表

1月27日(水), ⑤, ⑥校時, 第3回目の2年生課題研究校内発表会が, 本校サイエンス館を会場に, 他校の先生方4名, 2年生保護者6名, 理数科1年生と中学生を加え100名以上の参加を得て開催された。口頭発表4グループ, ポスター発表9グループ(全員)の発表が行われた。各グループとも熱心な発表であったことは勿論, 活発な質疑応答やセッションが繰り広げられた。

本発表会は, 2年生にとって, 研究成果を校内で発表する最後の場となった。また, 2月4日(土)に迫る「理数科合同発表会」に向けての練習としても位置づけられた。1年生には, 1年後を見通して, 自分たちの研究にフィードバックする意識づけの場となった。



口頭発表に対する活発な質疑



ポスター発表



全員発表(9グループ)のポスター発表, ポスターセッション



第1回理数科交流会

～学年を超えて“科学”を継承～



フリートークの場面

1月27日(水), ⑦校時, 課題研究校内発表会に続き, 「第1回理数科交流会」が行われた。本年度から「学年を超えた理数科の生徒どうしの意識や研究活動を有機的につなげる一助とし, 研究活動の継承と発展を目指す」ことを目的に, 実施される行事である。

成果発表を終えた2年生からは, 自分たちの経験から, 1年生に向けて, 課題研究を行うに当たっての「成功の秘訣」を伝授, これに対して, 1年生は「実のある研究成果が得られるよう頑張る」ことを, それぞれの思いを交換した。また, 3年生からは, 課題研究の実践経験が大学受験をはじめ, 色々の場面で活かせることを後輩たちに伝えた。その後のフリートークの場面では, 課題研究と部活動や勉強との両立方法, テーマの見つけ方など, 具体的な事柄に質疑応答が行われ, 気遣いのない交流が行われた。



「2年生から1年生へ」



「1年生の決意」



「3年生から後輩へ」



ちょっと遅くなりましたが
1月号です。

科学Tryアングル岡山

「集まれ！科学への挑戦者」

岡山大学
自然科学研究科棟

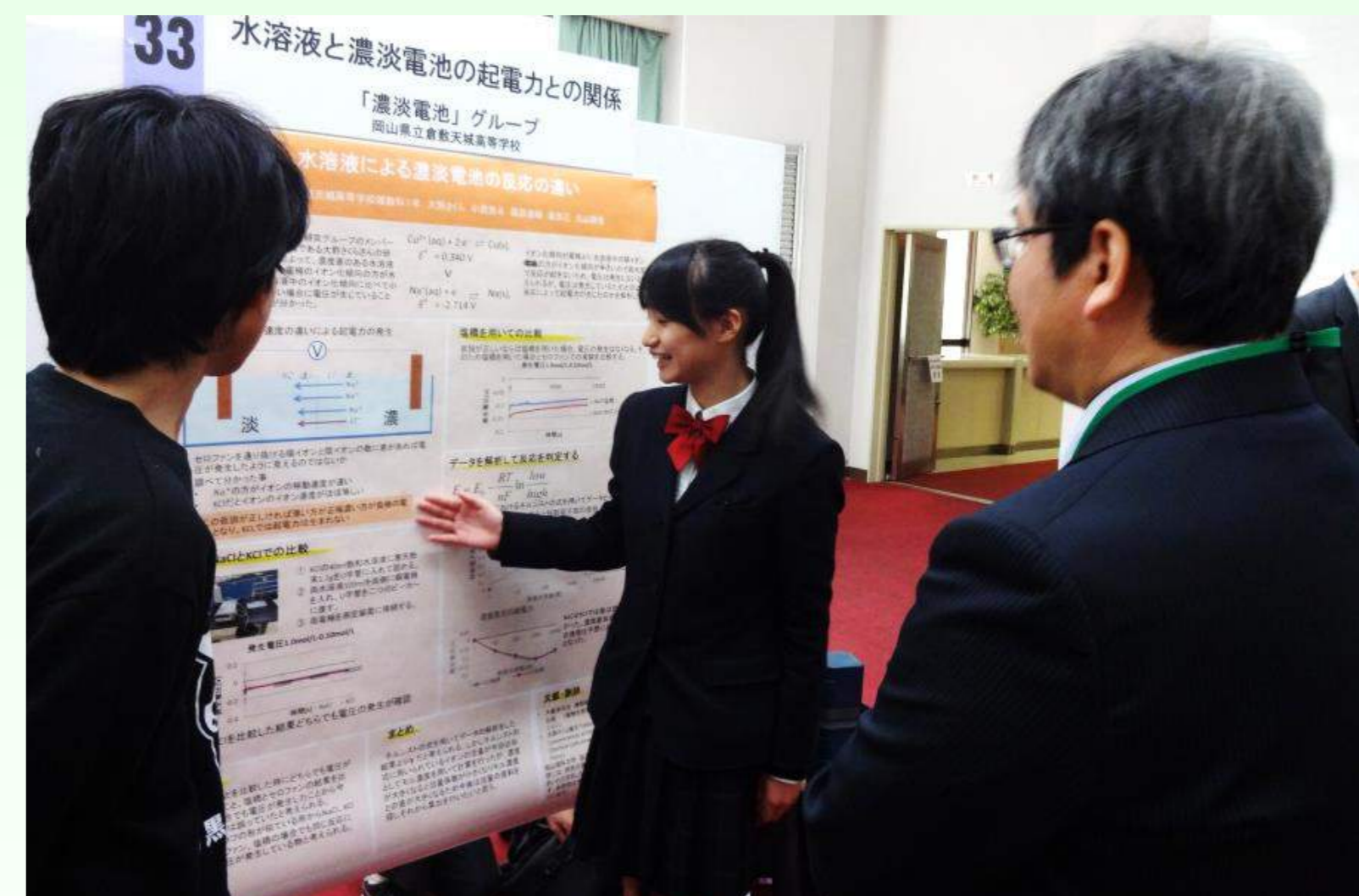
1月24日(日)、岡山大学自然科学研究科棟大講義室において、科学Tryアングル岡山「集まれ！科学への挑戦者」が開催された。本校からは、2年生「発光バクテリアの発光制御」と1年生「水溶液と濃淡電池の起電力との関係」の課題研究2グループが参加し、ポスター発表を行い、ともに奨励賞をいただきました。なお、この発表会には、天城中学校から5グループ(下に関連記事)、岡山大学のGSCO(グローバルサイエンスキャンパス)に参加している高校生2名(1,2年生)も研究発表を行った。



2年生「発光バクテリアの発光制御」



参加した中学生、高校生、全員で



1年生「水溶液と濃淡電池の起電力との関係」

天城中学生も高校生と同じ発表会へ

～高校へ飛躍する次世代の科学リテラシーとプレゼン表現力～

高校の課題研究校内発表会

1月27日(水)、高校2年生課題研究校内発表会において、中学3年生の3グループも研究発表を行った。発表に参加した生徒は、「貴重な交流の機会をととても楽しむことができました。高校生とディスカッションを重ねることで、見えなかった変数が、見つかったり、高校生の研究に対する熱意が良い刺激になり、自分を高めることのできる実りある発表会になりました。」「この発表会で、自分の力が精一杯出せたと思う。また、色々な人に見てもらって、気づくことができなかつたことも指摘されて、いい勉強になった。高校生の発表では、英語でのやりとりが見られて、とても驚いた。先輩を超えられるよう頑張りたい。」と感想を述べた。



中学3年生の発表風景
今年度はポスター発表に加えて、「特設」スライド発表も行った

「集まれ！科学への挑戦者」

1月24日(日)、「集まれ！科学への挑戦者」に中学3年生の5グループが研究発表を行い、「投げるな 危険！」が優秀賞に、「容器から出る水のリズム運動」、「光の色、照射時間とシュンギクの種子の発芽率の関係」「濃淡電池の応用」の3グループが奨励賞を獲得した。発表に参加した生徒の一人からは、「中学生の参加は珍しく、一番最初から審査員が審査に来てくれ、緊張してしまいました。発表会では、同じ生物の分野を研究していた高校生とたまたま仲良くなり、互いの研究について話し合えたので良かったです。また、このような機会があったら参加したいです。」と感想を述べている。

